

送り状と荷札を送り状シールへ移行

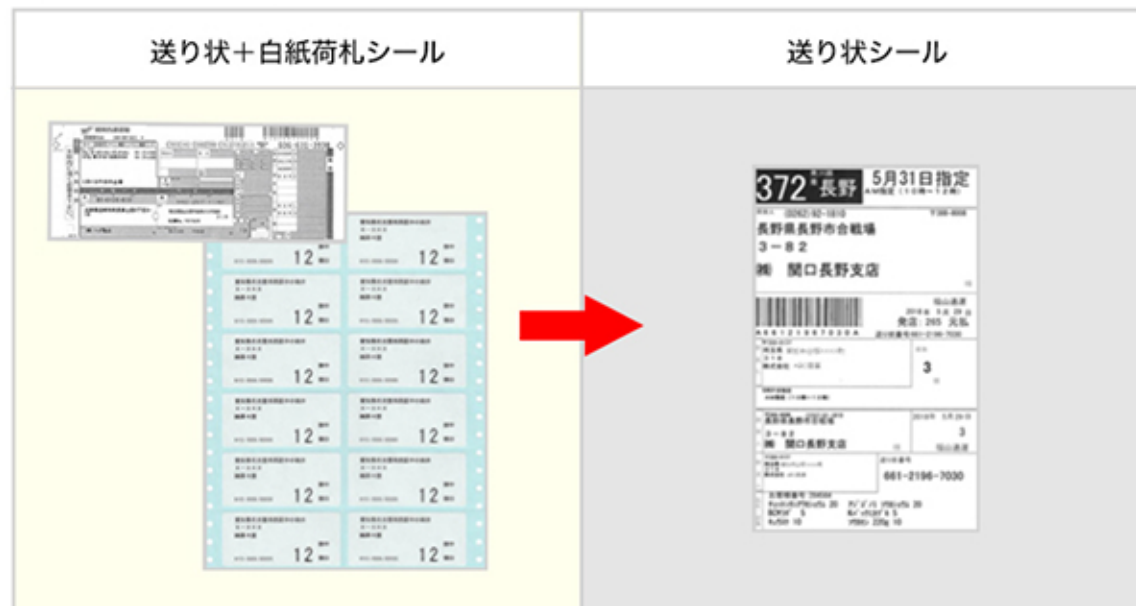
1 送り状シールへの移行

送り状と荷札を送り状シールへ移行するというのは、一見簡単そうに見えます。しかし、送り状シールの最大の欠点は、その形状が大きいということです。白紙荷札シールの大きさの3倍から4倍、それ以上かもしれません。サイズが大きいということは、それを段ボールに貼り付ける作業で、手間がかかります。簡単にどんどん張れません。ですから、ロットの大きい50ケース以上の場合は遠慮する、張り切れない、という状況が出てきます。使えるのはロットの少ない場合だけというように制限されることが考えられます。いかがでしょうか。

2 コスト削減額を計算する

1ヶ月のコスト削減額を計算するのは、それ程難しいことではありません。「菓子メーカーくん」では、送り状シール作成は送り状印刷画面で、CSV作成ボタンを押すだけで簡単に作成されます。送り状シール作成への変換数を数えることができます。1ヶ月分の変換数を数えます。1ヶ月の送り状シール印刷枚数がわかりますから、それに白紙荷札シールの1枚単価1.5円を乗算すればいいだけです。仮に、1ヶ月の商品出荷ケース数が20,000ケースで、その内の10,000ケースに送り状シールを発行したとすると、コスト削減額は、 $10,000 \text{ケース} \times 1.5 = 15,000 \text{円}$ ということになります。年間コスト削減額は180,000円ということになります。

■ 送り状と荷札を送り状シールへ移行



■ 西濃運輸 カンガルーマジックII 送り状シール印刷状況

